

軟式大会2冠を報告

千葉 日野
自動車野球部

市長「歴史に名刻んだ」



千葉日野自動車野球部の選手らが熊谷市長を訪問し、東日本大会と高松宮賜杯全日本大会の優勝を報告した＝6日、市役所

社会人軟式野球2部の主要な2大会で優勝した千葉日野自動車野球部の選手らが6日、市役所を訪問し熊

谷俊人市長に喜びを報告した。藤崎成紀主将(26)は「一人一人が地道に練習に励んだ結果」と2冠達成に胸を張った。

同野球部が優勝したのは「第40回東日本大会」と「高松宮賜杯全日本大会」のいずれも2部。東日本大会は5月に静岡県で行われ、都道府県代表29チームが出場した。9、10月の全日本大会は新潟県を舞台に、全国の地区ブロック代表など強豪

32チームが頂点を目指した。

東日本大会は接戦を勝ち抜き初優勝。全日本大会は決勝で地元の新潟市消防局に8―0で快勝し、初の栄冠を獲得した。熊谷市長は「軟式野球の歴史に名が刻まれた。これからもうれし報告を待っている」と期待した。

若葉区出身の大木悟選手(26)は「チームワーク良く得点できた」と笑顔。藤崎主将は「全体練習の時間が限られる中、選手個人が休みを利用してトレーニングに励んできた。陰の頑張りが実を結んだ」と振り返った。

同野球部は1965年4月に創部し、現在では選手21人が所属。市内を中心に週1回程度練習を行っている。